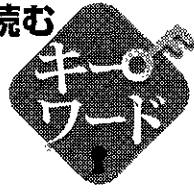


79年にスタートしたTBS系のドラマ「3年B組金八先生」の舞台。校舎と正門付近は東京都足立区千住曙町の区立第二中学校で撮影され、訪れるファンの姿が絶えない。武田鉄矢さん扮する金八先生に感動し、教師を志す若者も生

読む



桜中学

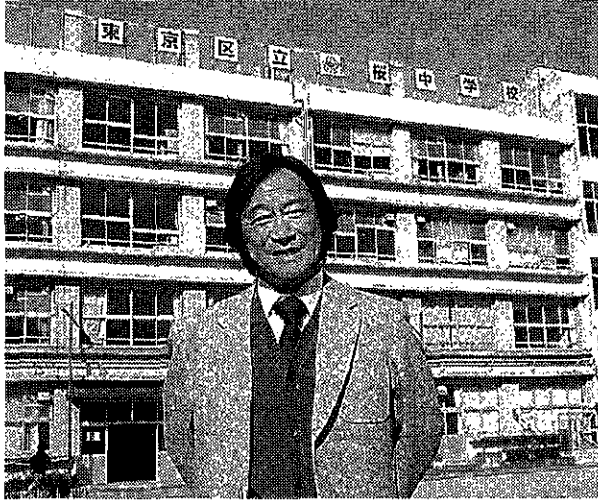
んだドラマのロケ地は昨春閉校し、跡地に来春、大学が誕生する予定だ。地元では、「構内に記念館を」という声があがる。

「金八」舞台跡地に大学

「緑の河原沿い」でロケ地に

- 3年B組の主な「卒業生」(敬称略)
- 【第1シリーズ】(79・10～80・3) 三原じゅん子、杉田かおる、鶴見辰吾
 - 【第2シリーズ】(80・10～81・3) 川上麻衣子、沖田浩之、伊藤つかさ
 - 【第3シリーズ】(88・10～88・12) 萩原聖人、浅野忠信、長野博
 - 【第4シリーズ】(95・10～96・3) 小嶺麗奈
 - 【第5シリーズ】(99・10～00・3) 金田美香
 - 【第6シリーズ】(01・10～02・3) 上戸彩
 - 【第7シリーズ】(04・10～05・3) 岩田さゆり

「桜中学校」の校庭に立つ武田鉄矢さん(東京都足立区千住曙町で(TBS提供))



脚本家小山内美江子さん(76)は79年、日本テレビ系の刑事ドラマ「太陽にほえろ！」に函が立

た。打ち切られた番組の後釜を、プロデューサーから任せられた。「テーマは何でも構いませんが、陽にほえろ！」に函が立

ら。当時、高校1年だった長男の同級生たちが中学時代、受験の重圧にあえぐ姿を目の当たりにしていた。「親の思いの丈を注ぎ、中学生の応援歌を書こう」と思い立つ。

舞台装置には川を加えたかった。教室のシーンだけだと息が詰まる。野球もジョギングもできる緑豊かな河川敷がほしい。コンクリートに覆わ

ドラマに触発教師志す

第二中ほど近い東武鉄道のガードは、ドラマにたびたび登場した。目と鼻の先の飲食店「日の出屋」はロケが始まる

と、出演者の休憩所に早変わりした。04年秋、千葉・四街道と北高校の沼山尚一郎教師(41)が訪ねてきた。青森

の現場監督と出会い、建設の面白さに目を見開かされた。当時28歳。「職人は役者、現場監督は演出家。芝居と同じですよ。褒めたり、しかったりして皆を束ねる」

れたいない河原を求め、探してたのが千住の荒川右岸である。川を望む土手から振り返ると、堤防に寄り添うように立つ校舎が目に入った。足立区立第二中学校だ。自ら桜中学と命名した。「ありそうで、ない名でしょ?」

3年B組からは、多くのスターが育った。だが、誰よりファンの記憶に残る役名は第2シリーズの「加藤優一」だろう。転校生の加藤少年は卒業式の直前、不良仲間を助けるため、以前在籍した中学に押しかけ、警察に連行される。金八の同僚が彼を指して呼んだ「腐ったミカン」は、流行語になった。

優を演じた直江喜一さん(43)はその後、10年近く俳優を続けたが芽が出なかった。塗装のアルバイトで何千万円という金額の仕事を仕切る1歳下の現場監督と出会い、建設の面白さに目を見開かされた。当時28歳。「職人は役者、現場監督は演出家。芝居と同じですよ。褒めたり、しかったりして皆を束ねる」

地元要望受け 記念館も計画

第二中は少子化に伴って第十六中と統合され、昨年4月、千寿校堤中が誕生した。足立区は旧第二中の土地建物を売却せず、学校法人に50年間貸し出すことにした。廃校決定後の04年、「日の出屋」店主の近藤光一さん(52)や幼なじみで最後のPTA会長長羽毛田順さん(53)らは小山内さんの賛同も得て、金八記念館の開設をめざし走

り出した。「若者の人生を変えた名作です。訪ねてくる若い世代のためにも、旧校舎にぜひ記念館を」足立区は今年1月、事業内容の提案を求める「プロポーザル方式」で貸出先を公募。東京と大阪の計3法人が名乗りをあげ、審査の結果、2月、三幸学園(東京・本郷)に決まった。理事長の鳥居秀光さん(58)は、ここがロケ地とは知らなかった。「記念館を、という地元の要望には、できる限り応えたいと思います」来春、開学予定の東京未来大(仮称)に将来、教員養成課程を設けたいと考えた。金八先生の志を継ぐ教師が育つことを願っている。(田中啓介)

第一シリーズを見るように親から勧められ、たちまち心を奪われた。大学時代、教員志望の学生向け研修会に出た。「金八先生」に感動し、教師を志した仲間何人も会いました。沼山さんはその後も何

回か、監督を務める野球部の部員たちも連れ、日の出屋にやって来た。店は、愛好家の作る複数のウェブサイトに紹介されている。第二中や登校シーンが撮影された荒川土手とともに、ファンが必ず足を運ぶ場所だ。